

学校法人溝部学園令和7年度事業報告書

1.法人の概要

①設置する学校、学科等

令和7年5月1日現在

学 校 名	学科等	開設年度	入学定員 人	収容定員 人	入学者数 人	現在数 人	備 考
別府溝部学園短期大学	ライフデザイン 総合学科	平成20年度	75	135	92	158	改組転換により、 平成20年度新設 令和7年4 月1日入学定員変更60人→75 人
〃	食物栄養学科	昭和41年度	40	80	45	83	平成20年度改組 定員100人→60人名称変更 平成31年 4月1日入学定員変更60人→40人
〃	幼児教育学科	昭和43年度	50	120	48	84	平成20年度改組入学定員50 人→70人 令和7年4月1日入学 定員変更 70人→50人
〃	介護福祉学科	平成15年度	35	65	33	79	平成31年4月1日 入学定員変 更40人→30人 令和7年4月1 日 入学定員 30人→35人
計			200	400	218	404	
別府溝部学園高等学校	普通科	昭和34年度	80	240	76	229	
〃	食物科	昭和45年度	40	120	50	127	
〃	看護科	昭和48年度	40	200	22	150	平成14年4月から5年 一貫に変更
計			160	560	148	506	
認定こども園ひめやま幼稚園	0～5歳児	昭和43年度	220	220	37	193	平成27年3月31 認定こども園認可平成 31年4月1日定員変更175人→195人令和 2年4月1日定員変更195人→205人 令和 3年4月1日定員変更205人→220人
大分県歯科技術専門学校	歯科衛生科 歯科技工科	昭和51年度 昭和51年度	35 35	105 70	20 7	50 9	歯科衛生科平成18年度より3 年制移行 令和5年度からダブルライセン ス制導入
ひらた保育園	0～5歳児	平成21年度	60	60	8	59	平成21年度開設
児童発達支援センターひめやま	0～5歳児	令和6年度	30	30	31	31	令和6年10月1日開設
計			740	1,445	469	1,252	

学校法人溝部学園 令和8年度役員・評議員

令和8年6月1日現在

役 職	氏 名	備 考
理 事	溝 部 仁	理 事 長
理 事	溝 部 佳 子	理 事
理 事	渡 邊 シ ゲ 子	理 事
理 事	平 松 茂 保	学外理事
理 事	芝 尾 宏	学外理事
監 事	田 邊 勲	学外監事
監 事	玉 井 鉄 之	学外監事
評議員	溝 部 太 郎	
評議員	佐 藤 清 信	
評議員	松 川 章 三	
評議員	中 尾 俊 一 郎	
評議員	嶋 真 由 美	
評議員	一 丸 由 紀 子	

令和7年度 教職員数

令和7年5月1日現在

区 分	教 員		職 員	
	本務	兼務	本務	兼務
別 府 溝 部 学 園 短 期 大 学	49	88	11	4
大 分 県 歯 科 技 術 専 門 学 校	8	42	0	0
別 府 溝 部 学 園 高 等 学 校	36	37	9	4
認 定 こ ど も 園 ひ め や ま 幼 稚 園	20	18	7	13
児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー ひ め や ま	7	12	2	1
ひ ら た 保 育 園	12	7	3	0
合 計	132	204	32	22

(理事会、評議員会資料)

令和 7 年度事業報告について

1. 令和 7 年 4 月 2 日
 - ・午前 10 時より体育館で、短期大学の入学式が挙行された。
2. 令和 7 年 4 月 3 日
 - ・午前 10 時 30 分より 85 年館で、大分県歯科技術専門学校の入学式が挙行された。
3. 令和 7 年 4 月 8 日
 - ・午前 10 時より体育館で、高等学校の入学式が挙行された。
4. 令和 7 年 4 月 12 日
 - ・午前 10 時より 85 年館で、ひめやま幼稚園の入園式が行われた。
5. 令和 7 年 4 月 24 日
 - ・午前 10 時より体育館で、高等学校看護科の戴帽式が行われた。
6. 令和 7 年 5 月 27 日
 - ・午前 10 時 30 分より記念館会議室で、理事会、評議員会を開催した。
今年度は、私立学校法の大幅な改正に伴う寄附行為の変更により、議案は評議員の選任、役員の選任、理事長の選任、会計監査人の選任をはじめ令和 6 年度事業報告、令和 6 年度決算等、令和 7 年度事業計画、令和 7 年度補正予算、及び第 3 次中期経営改善計画（5 年間）等について協議し、決議、承認する理事会、評議員会を開催した。また、令和 6 年度の資産の変更登記は、令和 7 年 5 月 29 日に完了した。
7. 令和 7 年 6 月 4 日
 - ・午後 2 時から短期大学と大分県歯科専門学校が大分県下の高等学校に対して、85 年館で入試の合同説明会を行った。今年も、高校の校長先生の参加が目立った。
8. 令和 7 年 6 月 20 日、同 11 月 7 日、同 11 月 15 日
 - ・短期大学の介護福祉学科が、介護人材育成と地域貢献を目的として、発足

当初より取り組んでいる「ふくし・ふれ愛ひろば～きちょくれ！楽しいん
デイ～」を3回に亘って開催した。

今年度は、1回目は6月20日に別府溝部学園高等学校3年生等を対象に
した「溝部学園・ふくし・ふれ愛ひろば」を実施、2回目は11月7日に同
高校2年生等を対象とした「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」を実施、
さらに3回目は11月15日に地域の高齢者等を対象とした「溝部学園 地
域・ふれ愛ひろば」と銘打って大々的に実施した。なお1回目の参加者は
43名、2回目は43名、11月15日の3回目は67名の総勢153名の参加
があり、介護の素晴らしさや食生活の重要性について披露し、大盛況を博
した。

9. 令和7年7月19日

- ・短期大学、大分県歯科技術専門学校の後援会総会が、14時から85年館1
階試食室で開催され、有意義な意見交換の場となった。

10. 令和7年8月2・3日

- ・溝部理事長が会長を務める亀川夏祭り協会の「亀川夏祭り」が、盛大に開
催された。

11. 令和7年9月3日

- ・午前10時より、85年館で11回目となる短期大学留学生の秋卒業式が挙行
された。

12. 令和7年9月22日

- ・午前10時より85年館で、短期大学留学生の秋入学式が挙行された。

13. 令和7年10月3日

- ・学園創立80周年記念式典・記念講演会が、午前9時30分から学園体育
館で、厳粛かつ盛大に開催された。来賓には佐藤大分県知事、長野別府市
長、嶋県議会議長ほか25名が出席、関係者は約400名が、さらにひらた保
育園園児ら1,000名は、オンラインで参加した。溝部仁理事長は、「80周年
を迎えられたことは大いなる喜び。初代理事長らの後ろ姿を思い浮かべなが
ら、100周年に向けて頑張っていきたい」と挨拶を行った。また式典の中で、

初代理事長 溝部ミツエ先生の遺徳を偲んで、頌徳式が行われた。なお、記念講演会では、豊和銀行の権藤頭取が「グローバルな視点を持ちつつ、地域社会の発展に役立つことが出来る人材を目指そう」と題して話した。

14.令和 7 年 11 月 1~2 日

- ・「ALL 溝部学園・学園祭 2025」が 2 日間に亘って、学園敷地内の 4 部門合同で盛大に開催された。今年度の学園祭のテーマは、「いろどりスイミー」。
「いろどり」には、「学科、国籍、年齢、個性に関係なく、誰でも楽しむことができ、思い出に残る学園祭にしたい」という短大・歯科の実行委員の思いと、高校の文化祭のテーマである「一人一人が団結して大きな力となり、地域との交流を深めたい」ことを意味する絵本の「スイミー」を合わせた造語である。主に短大、歯科の学生と、高校の生徒の実行委員が中心になって、企画した合同イベントの実施など趣向を凝らした内容で、創立 80 周年に相応しい内容で大いに盛り上がった。また、ひめやま幼稚園の園児、及び保護者の多数の参加もあり、盛大な合同学園祭となった。
なお、短期大学の食物栄養学科による第 3 回「Mizobe 食のフェスタ」も同日開催された。

15.令和 7 年 11 月 7 日

- ・学園創立 80 周年記念祝賀会が、午後 6 時よりホテルサンバリー（別府市）で盛大に開催された。その中で、溝部副理事長から各部門の永年勤続者（10 年以上）60 名の代表者に対して感謝状と記念品が手渡された。その後、新任教職員の紹介、乾杯、各部門の出し物では、日頃伺い知れない姿、一芸が披露され、大いに盛り上がった。

16.令和 7 年 11 月 18 日

- ・令和 7 年度の学園全体の総合防災訓練（第 15 回目）を実施し、学生、生徒、園児に教職員、野田地区住民（9 名）北部中学校の生徒（40 名）を含め、総勢 1,361 名の参加があった。今回も先の熊本・大分地震を教訓に、第一避難所は運動場に設定、その後各部門が分散して、耐震上問題のない建物避難を行った。なお、避難建物までの経路、避難場所までの所要時間等については、各部門の担当者が指導、把握に努め、次回以降の反省点の整理も行い、実践的で有意義な訓練であった。

17. 令和 7 年 12 月 12~13 日

- ・第 44 回ミュージックカーニバルを、J・COM ホルトホール大分で二日間に亘

って開催し、51 団体、1,734 名の皆様にご来場頂いた。オープニング演目「ひびきあう心ークリスマスソング&ソーランー」では、ソーラン節のほか、今年新たに混声合唱を取り入れクリスマスソングを歌い、演舞や合唱で一体感のある姿を披露することができた。その後、本公演、エンディングと続き、子供たちに一足早いクリスマスプレゼントを届ける事ができた。

18. 令和 8 年 1 月 9 日、2 月 19～23 日

- ・短期大学のライフデザイン総合学科 ファッションブライダルコースの学生による第 61 回「ファッションショー」が、大分市の J : COM ホルトホール大分・小ホールで開催された。

学生個人のアイデアから生まれたリメイクファッションや、デザイン・パターンを一から作成したドレス等の作品を披露した。カジュアルな作品・リメイクファッション、フォーマルドレス等も披露され、観客を魅了した。

- ・2 月 19～23 日には、第 26 回「グラフィックデザインコース卒業制作、学生作品展 2026」をアートプラザアートホール（大分）で開催、個性を重視した多彩な作品約 200 点を発表、展示し、来場した 400 名近くの方々を魅了した。毎年、回を重ねるごとに出品点数も増え、内容も充実してきている。

19. 令和 8 年 2 月 7 日

- ・魚食普及を目的にした「第 28 回お魚さばき講座」を、佐伯市蒲江漁業青年部連絡協議会と連携して、本学 85 年館調理室・試食室で開催した。

今回も、大分県地域での食育の推進補助事業の一つで食物栄養学科が取り組んできた MIZOBE 食の継承事業として、若い人たちに魚食ならびに伝統料理を伝える活動と位置づけ、本学学生 28 名に加え、親子を含む一般の方 9 名も参加し、佐伯市蒲江漁業青年部 13 名との交流も深めた。

20. 令和 8 年 2 月 27 日

- ・午前 10 時より高等学校の卒業式が、本学園体育館で厳粛な雰囲気の中、举行された。

21. 令和 8 年 3 月 6 日

- ・午前 10 時 30 分より 85 年館で、大分県歯科技術専門学校の卒業式が厳粛な雰囲気の中で、举行された。

22. 令和 8 年 3 月 13 日

- ・ 午前 10 時より、短期大学の卒業式が厳粛な雰囲気の中、本学園体育館で挙行された。

23. 令和 8 年 3 月 14 日

- ・ 午前 10 時より、ひめやま幼稚園の卒園式が、85 年館で行われた。

24. 令和 8 年 3 月 23～4 月 22 日

- ・ 学園創立 80 周年を機に、防犯体制の強化および時間管理の徹底を目的に、ALSOK による総合的な学園管理（施設、設備等）をスタートした。なお、併せて夜警制度を廃止し、各部門の実情にあわせた留守番電話システムを導入した。

学校法人溝部学園 財務の概要

1.令和 7 年度決算の概要

事業活動収支計算書、資金収支計算書、貸借対照表、定量的経営判断指標について、当期の財務状況を前年度決算額と対比し、おもな増減について説明する。

【事業活動収支計算書】

令和 7 年度は第 3 次中期経営改善計画の 3 年目であり、経常収支差額は△9,456 千円（前年比+50,872 千円）、経常収支差額比率は△0.5%（前年比+3.7P）となった。収入および支出の科目詳細については、下記のとおりである。

（教育活動収支）

〔収入〕学生生徒納付金は、学生・生徒・園児数は前年比+71 名（短大+82 名、専門学校 7 名増加、高校△46 名、幼稚園△6 名、保育園+3 名、児童発達支援センター+31 名）増加しており、46,228 千円の増加となった。寄付金収入は前年比+7,329 千円、経常費補助金は 691,777 千円の計上、短大 15,574 千円増加、高校 625 千円増加、幼稚園 6,803 千円減少、専門学校 52 千円増加、保育園 1,528 千円減少、児童発達支援センター 20,186 千円増加により 28,106 千円の増加となった。雑収入は退職金財団交付金の増加により 220,563 千円の増加、その他雑収入では 18,222 千円の増加となり 238,785 千円の増加

この結果、教育活動収入の合計は前年比 326,190 千円の増加により 1,772,776 千円となった。

〔支出〕人件費は、退職金 123,253 千円増加、退職給与引当繰入額 100,078 千円増加等により 231,333 千円の増加、教育研究経費は、学生数の増加特に留学生増加により、奨学金、授業料減免補助金等の増加がみられ 23,250 千円の増加、管理経費は留学生増加による寮費等の賃借料の増加、により 22,908 千円の増加となった。

この結果、教育活動支出の合計は+277,480 千円で 1,783,543 千円となった。

これらの結果、教育活動収支差額は△10,768 千円となった。

（教育活動外収支）

教育活動外収支差額は+2,165 千円で 1,314 千円となった。

（経常収支差額）

経常収支差額は、+50,876 千円で△9,453 千円となった。

（特別収支）

特別収支差額は施設設備寄附金の増加があるが賞与引当金特別繰入額 23,370 千円の計上により△5,419 千円、2,608 千円となった。

(基本金組入前当年度収支差額)

事業活動収入は+345,021千円で1,800,408千円、事業活動支出は+299,568千円で1,807,256千円、基本金組入前当年度収支差額は+45,456千円で△6,845千円となった。

財務比率に関しては、経常収支差額比率△0.5% (+3.7P)、事業活動収支差額比率△0.4% (+3.2P)、人件費比率61.2% (+2.1P) 教育研究費比率25.4% (-4.1P) 管理経費比率13.9% (-1.5P) で、定量的経営判断指標はB Oとなった。

【資金収支計算書】

〔収入の部〕借入金収入は新規借入金は50,000千円、前受金収入は-21,274千円、その他の収入は預り金受入収入等の増加により+96,497千円、これらの収入の部合計は+460,247千円で2,632,211千円となった。

〔支出の部〕人件費支出は退職金支出の増加により+226,975千円、施設・設備関係支出は-3,218千円、資産運用支出は今年度は、有価証券等購入はない、その他の支出は預り金支払支出等の増加により+134,616千円、これらにより支出の合計は+398,170千円で2,484,751千円となった。

この結果、翌年度繰越支払資金は△170,689千円で436,769千円となった。

【貸借対照表】

固定資産は△43,156千円、流動資産は現金預金の減少170,690千円があるものの未収入金230,719千円の増加により+60,800千円、この結果、資産の部合計は+17,644千円で4,249,095千円となった。

負債の部合計は未払金、賞与引当金の増加により+24,490千円で707,176千円となった。

基本金は+113,110千円で6,142,683千円となった

学園の財産状況については、純資産が△56,845千円で3,541,919千円となった。

貸借対照表の財務比率に関しては、純資産構成比率83.4% (-0.5P)、流動比率167.4% (-2.7P)、前受金保有率301.4% (-64.1P) 積立率16.8% (-8.1P) となった。

中期経営計画における項目別推進計画 令和7年度実施報告及び修正案

(歯科) 部門

○「中期経営計画における項目別推進計画」令和6年度実施報告

＊項目別推進計画実施状況を、次の3つに大別し報告とする。

【評価段階】

- 【A】計画どおりに達成
- 【B】課題は多少残るが、計画はほぼ進行中
- 【C】計画は未実施

I. 教育研究等の推進に関する計画

基本方針

- 歯科医院、歯科技工所での臨床実践教育の推進 【A】
- デジタルコミュニケーション(IOS から CAD デザイン)教育 【B】
- 社会人・職業人としての一般教養や規範意識の滋養 【B】

重点項目

〈歯科衛生科〉

- 社会のニーズの変化に対応した教育内容の充実と外部講師への趣旨の徹底 【B】
- 臨地実習における研修内容の充実 【B】
- キャリアデザインを通じた医療従事者としての目的意識の育成 【A】

〈歯科技工科〉

- クリニカルコーディネーターとしてのデンタルコーチング教育の実践 【B】
- 歯科技工士の業務拡大における包括的医療教育の実践 【A】
- デジタル化に対応した技術教育の強化 【B】

〈歯科衛生科・歯科技工科〉

- 就職支援の強化 (就職ガイダンスの実施など) 【B】
- 歯科医院、歯科技工所との産学連携教育の構築 【A】
- 教育力、研究力の強化 (研修会参加や学会発表の推進) 【B】

Ⅱ. 社会貢献の推進に関する計画

令和7年4月1日～令和8年3月31日

【学術研究実績】			
No.	年 月 日	学 術 研 究	備 考
1	R7.5.30	全国歯科衛生士教育協議会	飯田橋：日本歯科大学
2	R7.5.31	全国歯科技工士教育協議会	東京ガーデンパレス
3	R7.9.6	全国歯科衛生士教育協議会九州地区会	長崎：サンプリエール長崎
4	R7.10.10	全国歯科技工士教育協議会九州ブロック	WEB 会議
5	R7.11.9	歯科技工士生涯研修(大分県歯科技工士会)	大分県歯科技術専門学校
【社会貢献事業 実績】			
No.	年 月 日	社 会 貢 献 事 業	備 考
1	R7.6.4	ひめやま幼稚園 衛生教育	口腔保健活動
2	R7.6.5	くすのき保育園・内竈保育所 衛生教育	口腔保健活動
3	R7.6.6	餅が浜保育園 衛生教育	口腔保健活動
4	R7.6.11	青山保育所 衛生教育	口腔保健活動
【支援活動 実績】			
No.	年 月 日	活 動	備 考
1	R7.11.7	海外の歯科事情(講演)・ハンズオンセミナー	横田浩史先生(カナダ在住 DT)
2	R7.11.12	エアーフローセミナー	デュールデンタルジャパン株式会社
3	R7.11.28	シャープニングセミナー	ヒューフレディジャパン合同会社
4	R8.1.15	上級救命講習	別府市消防本部
5	R8.1.20	ホワイトニングセミナー	(株)GC
6	R8.1.26	口腔機能検査セミナー	(株)GC

Ⅲ. 業務運営の改善・効率化に関する計画

各課間の情報の共有と連携強化

- 校務分掌の見直し、再建 【A】
 - 「報・連・相」の徹底 【B】
 - 情報の一元化・・・各課の情報→企画運営委員会→関係各課 【B】
 - 職員の意識改革・・・各課による積極的な問題提起 【B】
- *職員分掌の見直し、分掌業務の再確認、職員教育、等を実施

施設・設備の老朽化等→計画的な環境整備

- 学習環境の整備 【B】
- 学生寮(個人マンション)の設置 【A】

IV. 自己点検・評価に関する計画

年度の重点目標策定（各科・各学年）.....【B】

＊シラバス、カリキュラムの到達目標等の明確化

学年による授業評価の実施.....【A】

＊一部教科で授業評価を実施

年度末反省の実施.....【A】

＊学科別に、クラス運営、授業実施報告等を実施

V. 情報の提供に関する計画【広報・学生募集】

学生募集の強化.....【A】

※高校訪問の強化、進学ガイダンスへの参画

H P、SNS の運用

➢ 高校生への情報発信による資格の認知向上を図る.....【B】

➢ 積極的な更新を図る.....【C】

VI. その他、事業運営に関する計画

要望事項

➢ 学園広報事業の一元化を目指す.....【C】

➢ 部門代表者会議の下に各部門代表者による連絡会議の設置.....【C】

(企画広報課・教務課・学生課)

＊各課部門会と各課間の連携が不足

➢ 報道への情報提供の徹底 記者クラブへの情報提供.....【B】

➢ 広報関係の収支状況報告←費用対効果の精査・検討.....【B】

主要財務比率の推移について

(法人全体)		(単位：％)					
(年度)	R 3年度	R 4年度	R 5年度	(R 5年度)	R 6年度	R 7年度	
				同規模 全国平均			
1 純 資 産 構 成 比 率	77.1	79.9	82.7	(89.0)	83.9	83.4	
2 流 動 比 率	265.6	242.0	219.4	(368.3)	170.1	167.4	
3 人 件 費 比 率	56.8	56.3	57.6	(62.8)	59.1	61.2	
4 人 件 費 依 存 率	128.4	131.2	133.9	(127.9)	141.7	167.3	
5 教 育 研 究 費 比 率	28.8	29.3	30.8	(37.1)	29.5	25.4	
6 管 理 経 費 比 率	14.5	13.7	15.1	(14.5)	15.4	13.9	
7 借入金等利息比率	0.4	0.3	0.2	(0.3)	0.1	0.02	
8 事業活動収支差額比率	1.4	0.7	-3.6	(-15.8)	-3.4	-0.4	
9 学生生徒等納付金比率	44.3	42.9	43	(49.1)	41.7	36.6	

〈コメント〉

① 純資産構成比率について

この比率は、学校法人の資金の調達源泉を分析する上で、最も概括的で重要な指標である。この比率は高いほど財政的に安定しており、50%を超えることが望ましい。令和7年度については83.4%を示しており、令和6年度対比、0.5%減少。学校法人会計基準の改正により平成27年度から純資産構成比率に変更された。

② 流動比率について

資金流動性つまり短期的な支払能力を判断する重要な指標の1つである。一般的に、金融機関等では200%以上であれば優良とみなしている。令和3年度は265.6%であったが、以降減少傾向となり令和7年度は167.4%となり200%を割って入るが依然優良な水準を保っている。

③ 人件費比率について

人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率である。

人件費は学校における最大の支出要素であり、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化に繋がる要因ともなる。令和7年度については61.2%と令和5年度同規模校の全国平均を下回る水準となっている。

④ 人件費依存率

人件費の学生生徒等納付金に対する割合を示すが、一般的には人件費が学生生徒等納付金の範囲内に収まっていること、つまりこの比率が100%を超えない事が経営上では好ましいが、令和7年度は167.3%を示してをり、100%を超過している。

⑤ 教育研究費比率

教育研究活動の維持・発展のためには、この比率の収支均衡を失しない範囲内で高くなることが望ましい。令和7年度は25.4%と令和6年度対比では4.1ポイント減少しているが、20%は超えている。

⑥ 管理経費比率

管理経費野経常収入に対する割合であり、学校法人の運営のためには、ある程度の経費の支出はやむを得ないとしても、比率としては低い方が望ましい。

令和7年度は13.9%を示しており、前年度に比べ1.5ポイント減少している。

⑦ 借入金等利息比率

この比率は、学校法人の借入金等の額及び借入条件等によって影響を受けており、財務を分析する上で重要な比率の1つであり、低ければ低いほど良いとされる。

令和3年度の0.4%以降、0.3%、0.2%、0.1%と減少傾向であり、令和7年度は0.02%と低い比率になっている。

⑧ 事業活動収支差額比率

この比率がプラスで大きくなるほど、自己資金は充実されていることになり、経営に余裕があるものとみなすことができる。

令和3年度は1.4%、令和4年度は0.7%、令和5年度は-3.6%、令和6年度は-3.4%、令和7年度は-0.4%で前年度に比べ3ポイント増加した。

⑨ 学生生徒等納付金比率

学生生徒等納付金は、学校法人の経常収入の中で最大の比率を占めており、重要な自己財源であり、この比率は安定的に推移することが経営的には望ましい。

令和7年度は36.6%となり50%を割り込んでいる。令和6年度対比では5.1ポイント減少している。少子化の現況を勘案すると、経常収入の多様化も必要となってきたおり、高水準で納付金に依存するより、相対的にこの比率が低い方が良い場合もある。

資金収支計算書（経年比較）

単位：千円

勘定科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生生徒等納付金収入	611,123	618,048	601,174	603,331	649,559
手数料収入	9,293	8,683	8,812	8,601	7,940
寄付金収入	12,397	23,718	12,573	9,845	35,181
補助金収入	644,479	620,389	652,970	668,373	696,509
資産売却収入	50	120	780	10,286	144
付随事業・収益事業収入	101,996	101,804	103,940	120,640	143,041
受取利息・配当金収入	480	457	431	718	1,656
雑収入	28,759	70,011	18,903	43,592	266,379
借入金等収入	20,000	0	0	0	50,000
前受金収入	148,413	153,269	154,080	166,205	144,931
その他の収入	551,828	620,512	512,220	540,373	636,870
資金収入調整勘定	△ 224,850	△ 211,136	△ 202,589	△ 221,918	△ 464,785
前年度繰越支払資金	1,016,108	922,904	866,097	704,564	607,558
収入の部 合計	2,920,076	2,928,779	2,729,391	2,654,610	2,774,983
人件費支出	785,036	812,124	808,317	858,490	1,085,465
教育研究費支出	307,244	332,640	342,634	338,077	359,281
管理経費支出	172,024	169,223	183,221	194,574	213,896
借入金等利息支出	5,336	4,096	2,818	1,570	342
借入金等返済支出	180,800	170,870	170,790	120,790	121,290
施設関係支出	31,125	15,280	18,420	51,492	37,781
設備関係支出	41,721	16,393	26,683	32,526	43,019
資産運用支出	0	0	30,000	0	0
その他の支出	486,526	554,768	458,208	489,062	623,677
資金支出調整勘定	△ 12,640	△ 12,712	△ 16,264	△ 39,529	△ 146,636
翌年度繰越支払資金	922,904	866,097	704,564	607,558	436,869
支出の部 合計	2,920,076	2,928,779	2,729,391	2,654,610	2,774,984

活動区分資金収支計算書（経年比較）

単位：千円

活動区分資金収支計算書（経年比較）		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
教育活動による資金収支	科 目	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
	教育活動資金収入計	1,380,409	1,440,065	1,397,321	1,446,586	1,772,776
	教育活動資金支出計	1,264,304	1,313,987	1,334,172	1,391,141	1,658,642
	差 引	116,105	126,078	63,149	55,445	114,134
	調整勘定等	4,059	23,491	12,801	14,062	△ 148,466
	教育活動資金収支差額	120,164	149,569	75,950	69,507	△ 34,332
施設整備等活動による資金収支	施設整備等活動資金収入計	27,689	2,708	1,831	8,083	25,978
	施設整備等活動資金支出計	72,847	31,674	45,102	84,018	80,800
	差 引	△ 45,158	△ 28,965	△ 43,271	△ 75,935	△ 54,822
	調整勘定等	△ 2,310	△ 6,128	3,914	4,406	3,051
	施設整備費等活動資金収支差額	△ 47,468	△ 35,093	△ 39,357	△ 71,529	△ 51,771
額)		72,696	114,476	36,593	△ 2,022	△ 86,103
その他の活動による資金収支	その他の活動資金収入計	499,753	545,811	450,367	502,508	620,664
	その他の活動資金支出計	665,653	717,093	648,493	597,490	704,882
	差 引	△ 165,901	△ 171,283	△ 198,126	△ 94,983	△ 84,217
	調整勘定等	0	0	0	0	△ 370
	その他の活動資金収支差額	△ 165,900	△ 171,283	△ 198,126	△ 94,983	△ 84,587
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△ 93,204	△ 56,807	△ 161,533	△ 97,005	△ 170,690
前年度繰越支払資金		1,016,108	922,904	866,097	704,564	607,559
翌年度繰越支払資金		922,904	866,097	704,564	607,559	436,869

財務比率

教育活動資金収支差額比率	8.7%	10.4%	5.4%	4.8%	△1.9%
--------------	------	-------	------	------	-------

1. 事業活動収支計算書及び財務比率（経年比率）

単位：千円

		勘定科目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支	教育活動収入	学生生徒等納付金	611,123	618,048	601,174	603,331	649,559
		手数料	9,293	8,683	8,812	8,601	7,940
		寄付金	11,804	23,718	12,573	6,750	14,079
		経常費補助金	617,434	617,801	651,918	663,671	691,777
		付随事業収入	101,996	101,804	103,941	120,640	143,041
		雑収入	28,759	70,011	19,284	43,592	266,378
		収入計 ①	1,380,409	1,440,065	1,397,702	1,446,585	1,772,774
	教育活動支出	人件費	784,670	810,644	805,431	855,105	1,086,438
		教育研究費	398,115	421,446	430,925	427,391	450,641
		管理経費	200,506	197,447	210,722	223,557	246,465
		徴収不能等	258	187	0	9	0
		支出計 ①	1,383,549	1,429,724	1,447,078	1,506,062	1,783,544
	教育活動収支差額 ①－②		△ 3,140	10,341	△ 49,376	△ 59,477	△ 10,770
	入外収支	受取利息・配当金	481	457	431	719	1,656
		収益事業収入	0	0	0	0	0
		収入計 ③	481	457	431	719	1,656
	出外収支	借入金利息	5,336	4,096	2,819	1,570	342
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
		支出計 ④	5,336	4,096	2,819	1,570	342
	教育活動外収支差額 ③－④		△ 4,855	△ 3,639	△ 2,388	△ 851	1,314
経常収支差額		△ 7,995	6,702	△ 51,764	△ 60,328	△ 9,456	

特別収支	特別収入	資産売却差額	50	120	779	286	144
		施設設備寄付金	594	0	0	3,095	21,103
		施設設備補助金	27,045	2,588	1,052	4,702	4,731
		過年度修正額	0	0	0	0	0
		収入計 ⑤	27,689	2,708	1,831	8,083	25,978
	特別支出	資産処分差額	0	0	0	56	0
		賞与引当金特別繰入額	0	0	0	0	23,370
		施設設備補助金	0	0	0	0	0
		支出計 ⑥	0	0	0	56	23,370
		特別収支差額 ⑤－⑥	27,689	2,708	1,831	8,027	2,608

経常収入 計	1,380,889	1,440,522	1,398,133	1,447,304	1,774,430
経常支出 計	1,388,884	1,433,820	1,449,897	1,507,632	1,783,886
事業活動収入 計	1,408,578	1,443,230	1,399,964	1,455,387	1,800,408
事業活動支出 計	1,388,884	1,433,820	1,449,897	1,507,688	1,807,256

財務比率	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度
経常収支差額比率	△0.6%	0.5%	△ 3.7	△ 4.2	△ 0.5
事業活動収支差額比率	1.4%	0.7%	△ 3.6	△ 3.6	△ 0.4
人件費比率	56.8%	56.3%	57.6%	59.1%	61.2%
教育研究費比率	28.8%	29.3%	30.8%	29.5%	25.4%
管理経費比率	14.5%	13.7%	15.1%	15.4%	13.9%

貸借対照表（経年比較）

貸借対照表

単位：千円

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	3,722,881	3,637,524	3,596,836	3,552,505	3,509,350
有形固定資産	3,704,025	3,618,668	3,547,979	3,513,644	3,470,516
特定資産	0	0	0	0	0
その他の固定資産	18,856	18,856	48,857	38,861	38,834
流動資産	999,380	929,998	757,857	678,946	739,746
資産の部合計	4,722,261	4,567,522	4,354,693	4,231,451	4,249,096

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定負債	704,471	532,200	408,144	283,469	265,362
流動負債	376,203	384,324	345,484	399,218	441,814
負債の部合計	1,080,674	916,524	753,628	682,687	707,176

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
第1号基本金	4,976,797	5,097,171	5,811,853	5,928,573	6,041,683
第2号基本金	0	0	0	0	0
第3号基本金	0	0	0	0	0
第4号基本金	101,000	101,000	101,000	101,000	101,000
基本金の部合計	5,077,797	5,198,171	5,912,853	6,029,573	6,142,683

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
翌年度繰越収支差額	△ 1,436,210	△ 1,547,173	△ 2,311,788	△ 2,480,809	△ 2,600,764

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
純資産の部合計	3,641,587	3,650,997	3,601,065	3,548,764	3,541,919

負債及び純資産の部合計	4,722,261	4,567,522	4,354,693	4,231,451	4,249,095
-------------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

財務比率

科 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
純資産構成比率	77.1%	79.9%	82.7%	83.9%	83.4%
流動比率	265.6%	242.0%	308.7%	170.1%	167.4%
前受金保有率	621.8%	565.1%	457.3%	365.5%	301.4%
積立率	39.7%	35.6%	29.1%	24.9%	16.8%

定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分

学校法人溝部学園 経営判断指標判定表

判 定		B 0	A 3	B 0	B 0	B 0
単位：千円						
1 教育活動資金 収支差額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	教育活動資金収入 (A)	1,380,409	1,440,065	1,397,321	1,446,586	1,772,776
	教育活動資金支出 (B)	1,268,363	1,337,478	1,334,172	1,391,141	1,658,642
	C = A - B	112,046	102,587	63,149	55,445	114,134
	教育活動資金収支差額比率 C/A	8.1%	7.1%	4.5%	3.8%	6.4%
判 定		○	○	○	○	○
2 運用資産と外部負 債の関係		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	運用資産 (D)	936,954	880,147	748,614	641,608	470,919
	外部負債 (E)	718,840	548,042	380,804	285,457	320,593
	F = D - E	218,114	332,105	367,810	356,151	150,326
	判 定	○	○	○	○	○
前受金保有率		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	現金・預金	922,904	866,097	704,564	607,558	436,869
	前受金	148,413	153,269	154,080	166,205	144,931
	前受金保有率	621.8%	565.1%	457.3%	365.5%	301.4%
	判 定	○	○	○	○	○
3 経常収支差額		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	経常収入 (G)	1,380,889	1,440,522	1,398,132	1,447,304	1,774,430
	経常支出 (H)	1,388,884	1,433,820	1,449,896	1,507,632	1,783,886
	経常収支差額 (I)	△ 7,995	6,702	△ 51,764	△ 60,328	△ 9,456
	経常収支差額比率 (I/G)	△0.6%	0.5%	△3.7%	△4.2%	△0.5%
判 定		×	○	×	×	×